

当市議会では法定委員会である総務、教育福祉、産業建設の各常任委員会において、閉会中における調査・研究及び視察等を精力的に実施しています。それらの活動がある程度区切りが付いた時点で、その成果等の検証・検討を加え協議し、その後の議会活動に生かしています。

これらは、全て市民の多様なニーズを充分把握した上で、政策に反映させるべく活動をしているものです。

総務常任委員会

公共施設等の 現状について視察

8月24日、「公共施設等総合管理計画に係る施設の現状について」をテーマとして、おおふなと斎苑と市民文化会館・図書館（リアスホール）の現地視察を実施しました。

この活動は、市民に寄り添い市民の願う行政サービスの充実・強化や費用対効果の検討等が主な視点であり、今後復興予算縮小の傾向にある中で、通常予算の適正且つ有効な執行に資するための有効で有用な方法と考えるものです。

約350にも及ぶ施設を今後も維持存続を図るものであり、役割を終えたものがあるとするならば、見直しを加えて、市民ニーズの下に、より一層のサービス向上を目指すため調査していきます。



教育福祉常任委員会

スポーツ施設の現状と 課題の把握へ

8月24日、市内の各スポーツ施設の現状を視察しました。

視察先は、仮設住宅の撤去後に芝生が張り替えられ一新された市営球場、震災後に改修された体育

館とテニスコート、人工芝が張られた新設の赤崎グラウンド、陸上競技場や野球場としても使われる三陸総合運動公園や上屋付きプールを有するB&G海洋センターです。経年により、現在のスポーツ環境に適さなくなった付帯設備や、一定規模の大会の開催が困難な施設の現状を把握しました。スポーツの振興とその交流人口の拡大に向け、今後の在り方を検討することにしました。



産業建設常任委員会

岩手県建設業協会 大船渡支部と意見交換

7月19日、一般社団法人岩手県

建設業協会大船渡支部を訪れ、復興工事の現状や今後の課題について意見交換を行いました。出席者からは、全国各地で地震や豪雨などの大規模災害が多発し、その復旧と市民の安心・安全確保のため、建設業界の力がかつてなく試されているとし、復興後における業界の体制維持や起こりうる災害に対して強い危機感が示されました。

また、人口減少を食い止めるため若者の雇用の場の確保や、より広域的な枠組みで問題解決を考える時期にきているなど貴重なご意見もいただき、復興後のまちづくりのあり方などについて考えを深めることができました。



復興特別委員会

7月27日、復興特別委員会（議長を除く19名で構成）を開催し、今後の復興と将来展望を見据え行なった市議会の提言に係る対応状況について、当局から説明を受け、各委員から意見等の質疑を行いました。

その中で、国道の交通規制に関する諸問題、また避難行動要支援者名簿の消防団等への提供等の課題が指摘されました。

いずれの意見についても、当局から今後関係機関である三陸国道事務所・岩手県・警察・消防等の協議を通じて、鋭意取り組み、調整を図っていくこととし、様々な角度で庁内においても更なる調整の上、議会に報告することになりました。

I・L・C誘致推進議員連盟

8月21日、陸前高田市コミュニティホールを会場に、平成30年度気仙地区議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟総会が開催されました。

これまでの活動報告及び今後の活動方針等が全会一致で承認されました。総会后、岩手アルザス交流

委員会会長である平野ユキ子氏を講師に、「I・L・C誘致とその波及効果について」の講演会を開催し、誘致に向け取り組みむべき活動や議員間の共通の認識となる意見交換により、気仙における経済の活性化の構築方法等、一枚岩となるよう申し合わせを図りました。

気仙地区議会議員協議会

8月21日、気仙地区議会議員協議会が開催されました。大船渡市・陸前高田市・住田町の議会議員が一堂に会し、それぞれの市・町から提出された9つの要望が可決さ



れました。

同協議会で可決された案件は、相互に連携し共通の課題として、共通認識の下に協力し、地方行政の振興発展に資することを目的とし、今後必ずや実現を図るべく、岩手県等の関係機関に対して鋭意働きかけることを確認しました。

三市議会議員研修会

8月8日、第7回大船渡市議会・陸前高田市議会・奥州市議会の三市議会の議員研修会が奥州市で開催されました。当研修会は、平成24年度から持ち回りで開催しています。



研修会は、国立天文台の旧緯度観測所本館を保存・改修した奥州宇宙遊学館で行われ、同館長の中東重雄氏を講師に、「I・L・Cに何が期待できるのか？」と題して同技術つ その技術」と題して同技術がもたらす波及効果等の講演で、今後の誘致活動への認識を新たにしました。

議会改革研修

9月3日、全議員を対象として、先に制定施行している大船渡市議会基本条例や各常任委員会からの提言について評価・指導を仰ぐために研修会を開催しました。

講師には、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏を招き、同条例の検証や提言の進め方及び考え方について先進事例等を参考に学びました。

また、プロセスや内容を発表し、講師からは、様々なアドバイスをいただきました。

先進事例を参考として議会政治に望む今後の姿勢等大いに勉強になりました。